

# 今後のeラーニング「事前学習」の実施について

## 1. 実施結果からの課題と対応(案)

- 第2期の実施結果から明らかになった課題への対応(案)と対応時期を下表にまとめた。

表 実施結果からの課題と対応(案)

赤字: 新たに対応する事項

区分	第2期の実施概要	課題	対応(案)	対応時期	
① システム	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回と同じLMSを利用する。</li> </ul>	継続	
② 教材	テキスト	(別添2) <ul style="list-style-type: none"> <li>文字が小さく見えづらい箇所がある。(6)</li> <li>テキスト内の用語・文章の見直し・改善、誤字脱字チェック等をした方がよい。(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストに見づらい箇所、誤字脱字等がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストを見直し、見づらい箇所、誤字脱字を修正する。</li> </ul>	次年度
	テスト	(別添1) <ul style="list-style-type: none"> <li>正答率が70%未満のテストがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正答率が70%未満のテストを改善するかどうか検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正答率70%未満のテストを見直す。悪問の場合、テストを修正する。悪問ではない場合、テキストを見直し、必要に応じて修正する。</li> </ul>	次年度
		(別添2) <ul style="list-style-type: none"> <li>ひっかけ問題は不要。(3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストにひっかけ問題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストを見直し、ひっかけ問題等の悪問があれば修正する。</li> </ul>	次年度
		(別添2) <ul style="list-style-type: none"> <li>全問正解できないと合格にならないテストは厳しいと感じた。(9)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全問正解しないと合格しないテストは難しく感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>eラーニング「事前学習」の実施方針のため、対応しない。</li> </ul>	-
③ ログ ※	情報提供のためのログの集計項目	(別添2) <ul style="list-style-type: none"> <li>わからなかった箇所を聞いているが、単元までわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問の仕方を検討し、単元を明確に回答してもらえるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの「分からなかった箇所」の質問内容を見直す。</li> </ul>	次年度
④ スケジュール	実施時期・期間	(別添1) <ul style="list-style-type: none"> <li>受講者の7割以上が、研修13日前には受講完了している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の実施時期及び期間中に受講者の7割以上が受講完了しているため、課題なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回と同じ実施時期・期間で実施する。</li> </ul>	継続
	集計対象期間	(別添1) <ul style="list-style-type: none"> <li>受講者の7割以上が、研修13日前には受講完了している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の集計対象期間中に、受講者の7割以上が受講完了しており、講師等に参考となる情報提供のための集計には十分な量であるとして、課題なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回と同じ期間を集計対象の期間とする。</li> </ul>	継続

区分	第2期の実施概要	課題	対応(案)	対応時期	
④スケジュール	コーディネーターへの報告時期	・特になし	-	・今回と同じ時期に報告する。	継続
	講師への情報提供時期	(別添4) ・講義に反映させる時間がなかった。(2)	・少数ながら講義に反映させる時間がなかったと回答している講師がいた。	・コーディネーターへの報告時期と同じ、 <b>研修の8日程度前(土日含む)に講師に提供する。</b>	次年度
	リマインド	(別添1) ・受講者の7割以上が、研修13日前には受講完了している。 ・研修最終日時点では、研修13日前時点から全体で8.4%増。	・リマインド1回目と2回目に比べて3回目のリマインド(研修13日前)と、4回目のリマインド(研修3日前)の効果が高い。	・リマインドは継続して実施する。 ・リマインド回数は <b>4回から3回に変更</b> する。 ・3回目のリマインドのタイミングは、リマインド後でも十分余裕をもって受講が可能で、 <b>研修5日前とする。</b>	次年度
⑤第1期の課題への対応	テキストの分量が多く、閲覧に時間がかかった	(別添1) ・警報避難コースを比較すると、閲覧にかかる時間が前回から約30分程度短くなった。 ・共通コース、警報避難コースの前の単元毎の正答率を比較しても大きな差は見られず、他の5コースについても、正答率が70%未満の単元は無かった。  (別添2) ・テキストの分量が多い。 (4) ・取り組みにくかった理由のうち、「分量が多かった」ことが最も多く挙げられているが、全体の割合で見ると、1割以下であり、前回の結果と比較しても13.2%から6.9%に下がっている。	・分量が多いという意見はあるが、前回と比較して、閲覧時間は大幅に減り、「分量が多い」という意見の割合も減っている。  ・テキストの音声読上げをしなかったことで閲覧時間が大幅に減ったと考えられる。  ・前回のテストの正答率を比較しても大きな差はなく、音声読上げの有無による学習効果の差は見られなかった。	・効果が同じであれば、受講者へのテキストの閲覧にかかる時間の負担を減らすため、今後もテキストの音声読上げをしないスライド学習とする。	継続
	テキストの内容を読み上げているだけで、音声の必要性を感じない	・音声読上げ機能があってもよい。(2)			
	所要時間がわかるようにしてほしい	・所要時間は実績の平均としてほしい。(1)	・所要時間が実際の閲覧時間と乖離している。	・今回の閲覧時間の平均を所要時間として掲載する。	次年度

## 2. 次年度の実施方針(案)

- ・対応(案)を踏まえ、次年度以降の実施方針を下記にまとめた。

表 次年度の実施方針(案)

赤字:次年度から変更する箇所

① システム	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストはPDFでダウンロード・印刷が可能</li> <li>・修了証の発行・印刷が可能</li> <li>・受講者データ・教材データの即時登録・更新が可能</li> <li>・集計・分析に必要なログ※が常時取得可能</li> </ul>
② 教材	テキスト (個別6コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修指導要領を基にパワーポイントでテキストを作成、内容の充実化を図る ※研修指導要領がテキストに反映されたため、PDFでの配布は取りやめた</li> <li>・第1期では掲載していなかった学習項目も掲載するように修正</li> <li>・読みやすくなるようレイアウトを改善</li> <li>・<b>テキストを見直し、見づらい箇所、誤字脱字を修正する。</b></li> <li>・<b>時点修正および研修指導要領の改訂に合わせた更新を行う</b></li> </ul>
	テキスト (共通コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期と同様の内容(標準テキスト1～3階層を基に作成)</li> <li>・内容は6コースとも共通</li> </ul>
	テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇×」テスト</li> <li>・研修指導要領を基にテストを作成</li> <li>・1単元につき3問以上作成し、1単元ごとに1問ランダムに出題する</li> <li>・<b>正答率70%未満のテストのうち、悪問であればテストを修正する。</b></li> <li>・<b>正答率70%未満のテストを見直す。悪問の場合、テストを修正する。悪問ではない場合、テキストを見直し、必要に応じて修正する。</b></li> <li>・<b>テストを見直し、ひっかけ問題等の悪問があれば修正する。</b></li> <li>・<b>時点修正および研修指導要領の改訂に合わせた更新を行う</b></li> </ul>
③ ログ ※	情報提供のための ログの集計項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストの実施状況(合格率)</li> <li>・コース全体、単元ごとのテストの正答率</li> <li>・テストの問題を1問以上間違えた人数</li> <li>・テキストの閲覧状況</li> <li>・(アンケート)わからなかった箇所 <b>アンケートの「分からなかった箇所」の質問内容を見直す</b></li> </ul>
④ スケジュール	実施時期・期間	・研修の1ヶ月前～研修2日目まで
	集計対象期間	・開始から3週間まで
	コーディネーター への報告時期	・研修の8日程度前(土日含む)
	講師への 情報提供時期	・ <b>研修の8日程度前(土日含む)</b>
	リマインド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別のコースおよび共通コースのテストに合格していない受講者に送付</li> <li>・1コースにつき下記のタイミングで<b>3回実施</b></li> <li>①集計対象期間の終了1週間前</li> <li>②集計対象期間の終了2日前</li> <li>③<b>研修5日前</b></li> </ul>
⑤ 第1期 の課題 への 対応	テキストの分量が多 く、閲覧に時間がか かった(4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの図表は読み込まなくても良いことがわかるよう、「詳細は研修で学ぶ」ことを注意書した。</li> <li>・音声読上げ無しに変更することで、閲覧時間を受講者が調整できるようにした。</li> </ul>
	テキストの内容を読み 上げているだけで、 音声の必要性を感じ ない(5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声読上げ無しでスライド学習を実施した。</li> </ul>
	所要時間がわかるよ うにしてほしい(1件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPIにコース全体の所要時間を掲載した。</li> <li>・単元ごとのテキスト、テスト、アンケートのそれぞれに所要時間を掲載した。</li> <li>・<b>今回の閲覧時間の平均を所要時間として掲載する</b></li> </ul>

※ログ:LMSへのログイン履歴、テキストの閲覧履歴、テスト・アンケートの回答等、LMS上に記録されたデータのこと。